

SPLIT関数

指定された値を区切り文字で分割し、指定された位置の値を返す

◇機能

対象のフィールドや値を、その値に含まれる「区切り文字」で分割し（分割した区切りを「セグメント」と言います）、指定した位置のセグメントの値を文字で返します。

（例）03-1111-2222を「-」で分割した場合

1つ目のセグメントの値：03

2つ目のセグメントの値：1111

3つ目のセグメントの値：2222

◇構文

SPLIT(文字列,区切り文字,セグメント番号,修飾子)

| 引数 | 入力内容 |
|----|---|
| 1 | 文字列 分割したい文字型フィールドまたは文字のリテラル値、式を指定します。 |
| 2 | 区切り文字 値を分割するための区切り文字を指定します。区切り文字の前後に半角の二重引用符を付けて記述します。区切り文字が半角の二重引用符の場合は、一重引用符を付けます。 （例）03-1111-2222を「-」で分割する。 区切り文字："-" |
| 3 | セグメント番号 値を取り出したいセグメントを番号で指定します。セグメントは左から順に1から番号が割り当てられます。 （例）03-1111-2222を「-」で分割した場合 セグメント1：03、セグメント2：1111、セグメント3：2222 |
| 4 | 修飾子 「文字列」（引数1）に値を識別するための修飾子を使用されている場合、修飾子を指定すると、修飾子を除いて値を取り出すことができます。修飾子を使用されていない場合は、空欄とします。 （例）以下の場合、「"」が修飾子です。 "1,000","2,000","3,000" 「1,000」の中のカンマ（,）は、修飾子「"」により、値を区切るためのカンマではなく、値の一部とみなされます。 式：SPLIT("1,000","2,000","3,000","",2,"") 戻り値：2,000 ※「修飾子」は記号の前後に二重引用符を付けて記述します。修飾子が二重引用符の場合は、一重引用符を付けます。 |

SPLIT(文字列,区切り文字,セグメント番号,修飾子)

文字列 分割したい文字列またはフィールドを指定します。

区切り文字 分割の基準となる区切り文字を指定します。

セグメント番号 取得するセグメント番号を指定します。

修飾子 文字列に修飾子が含まれている場合のみ指定します。

指定した文字列またはフィールドを「区切り文字」でそれぞれ分割して、分割後の文字列から、指定した番号の分割後文字列を返します。

▼以下、使用例です。

- 文字列例：「03-1234-5678」
- 区切り文字：「-」※ハイフン
- セグメント番号：「2」

「03-1234-5678」を「-」で区切って文字列を分割し、そのうち2番目のセグメント「1234」を取得します。

OK キャンセル

◇戻り値のデータ型

文字型

◇処理の例

| 例 | 式 | 戻り値 | 説明 |
|---------------------------------|-----------------------|--------------|--|
| 「電話番号」フィールドの値が「03-1111-2222」の場合 | SPLIT([電話番号], "-", 1) | 03 | |
| | SPLIT([電話番号], "-", 2) | 1111 | |
| | SPLIT([電話番号], "-", 3) | 2222 | |
| | SPLIT([電話番号], "-", 4) | | 4つ目のセグメントが存在しないため、空欄が返されます。 |
| | SPLIT([電話番号], "/", 1) | 03-1111-2222 | 値に区切り文字がないため、値が分割されず、1つ目のセグメントにすべての値が入ります。 |
| | SPLIT([電話番号], "/", 2) | | 2つ目のセグメントが存在しないため、空欄が返されます。 |